

# 国道42号有田海南間渋滞緩和実験」の実施について(案)

## 1. 目的

国道42号の有田市～海南市間の交通環境の課題解決を図るための一つの施策として、当該区間に並行する「海南湯浅道路」を対象に、弾力的な料金施策(料金の割引)に関する社会実験を実施し、国道からの転換交通の状況、渋滞や交通安全等の交通環境の改善効果についての実験検証を行うものです。

## 2. 国道42号 有田市～海南市間」の交通状況等

拠点地域間の通勤等における時間短縮を図るため、これまで、交差点の改良や信号機の改善等、交通環境を向上する交通円滑化対策を進めてきた結果、渋滞ポイントの解消や緩和が図られましたが、近年の交通量の増大から小南交差点を始めとして依然渋滞が残っています。

国道42号 交通量 18,700～29,800台/日、混雑度 1.41～1.76 (H11 センサス)  
(湯浅海南道路 交通量 17,100～17,900台/日、混雑度 1.36～1.38)  
一般的に、混雑度 1.5で渋滞が発生すると考えられています。

### [ 渋 滞 ](平成15年度和歌山河川国道事務所調べ)

北行き交通(平日)

- ・和歌山方面に向かう北行き交通のピークは、出勤時間に相当する時間帯に発生している。

南行き交通(平日)

- ・白浜方面に向かう南行きの交通のピークは、帰宅時間に相当する時間帯に発生している。

北行きピーク時と南行きピーク時で交通量、通過時間に大きな差は認められない

### [ その他環境 ](平成15年度和歌山河川国道事務所調べ)

夜間の交通

- ・騒音について、一部の地域で夜間要請限度(70デシベル)を1デシベル程度超過している区間があります。

## 3. 決定された事項

海南湯浅道路

割引対象区間

料金割引の対象区間は  
吉備IC～海南ICとする

- ・主要渋滞ポイントが3箇所存在すること
- ・現道42号が20kmに対し有料道路は、10kmと約半分、転換のメリットが大きい
- ・両ICとも国道42号に対しダイレクトにタッチしている

割引対象車両

みなべIC～下津ICで入り、海南湯浅道路を利用し  
海南IC又は和歌山ICで出る北行き車両、全車種

- ・南行きについては、入口ICでの交通集中による周辺道路の混雑など問題等課題解決が困難
- ・有田以南で発生する交通についても、有田海南間の交通渋滞に寄与していると考えられるため、入口ICは吉備IC以南も含める

## 4. 引き続き検討すべき事項

実施する時期

実施時期及び期間について引き続き検討する

時間帯

渋滞緩和の効果が期待できる時間帯を引き続き検討する。

割引額

割引額と返金しやすい方法等について引き続き検討する。